

# 一、ペナントは誰の手に

セ・リーグ開幕

お家騒動などあつて昨シーズンBクラス転落の浮目をみた名門ジャイアンツ。汚名挽回を期する川上さんが決意を述べれば、長嶋も心中期する所があるようだ。

一方中日ドラゴンズも大島会長主催の激励会。

古巣に返えり咲いた杉浦さんを中心に、江藤、権藤も元気いっぱいの明るい表情です。かくて、四月十三日セントラル一せいに開幕。

川崎球場では、大洋、広島の三連戦。張切る広島カーブの打棒はすさまじいばかり。三試合で打も打つたり二九安打。チーム打率二割九分六里と言うカーブに引きかえ、メガトン打線は全く不発。一方野球のメッカ後楽園では、案内さんが春眠をむさぼるのどかな光景。

それに引きかえ緒戦に宿敵ジャイアンツを迎えた甲子園球場では、六万を越す大観衆。今一步の詰にかける阪神にひきかえ出足好調の巨人、長嶋は三ホームを含む六安打で、六点をたたき出し、長嶋ジャイアンツを行く地で行く大活躍。

一方こちらは中日球場。ドラゴンズがマーシャル、江藤を三、四番に並べれば、国鉄の浜崎さんは、豊田、徳武で対抗。河村、金田の投げ合いで、白熱したゲームを勝負。それぞれ各地で野球ファンを楽しませる試合を転回されました。

## 一、吉展ちゃんを返して。

——誘拐事件

三月三十一日夕方、東京台東区入谷の村越吉展ちゃんが、自宅前の入谷南公園手洗所から姿を消して、すでに二週間。連れ去られた公園は、砂場、ブランコ、スベリ台など、日頃遊び場に恵まれない子供達にとっては楽園そのもの、それだけに吉展ちゃん誘かい以来、近所の人達のショックも大きく、今では、この楽園も母親の監視つき。こうした沈うつな中で、「吉展ちゃんを返えして」と両親に協力して訴えるオジさんや町のサンドイッチマン。

しかし両親の願いをよそに犯人の手がかりは依然つかめないのであります。

たまりかねた原警視総監は「一日も早く吉展ちゃんを返えして下さい」と犯人への異例の呼びかけをする、とともに都民への協力を訴えました。

しかし当局では全力をあげての捜査もむなしく、四月十七日吉展ちゃんの満五歳の誕生を迎えたのです。この日母親豊子さんは、吉展ちゃんの大好きなバナナ、イチゴ、お菓子、牛乳などを並べ「吉展ちゃん、一日も早く元気で帰って来てちょうだい」と目頭を押えて訴え続けるのです。

## シネスコ版

No. 483 38.4.19

甲子園新規ニュースNo.19 花やかに六島モツリ。本編トップへ追加) 130p  
高知新規ニュースNo.318 }  
新愛媛新規ニュースNo.146 } 本編同じ

260p

370p